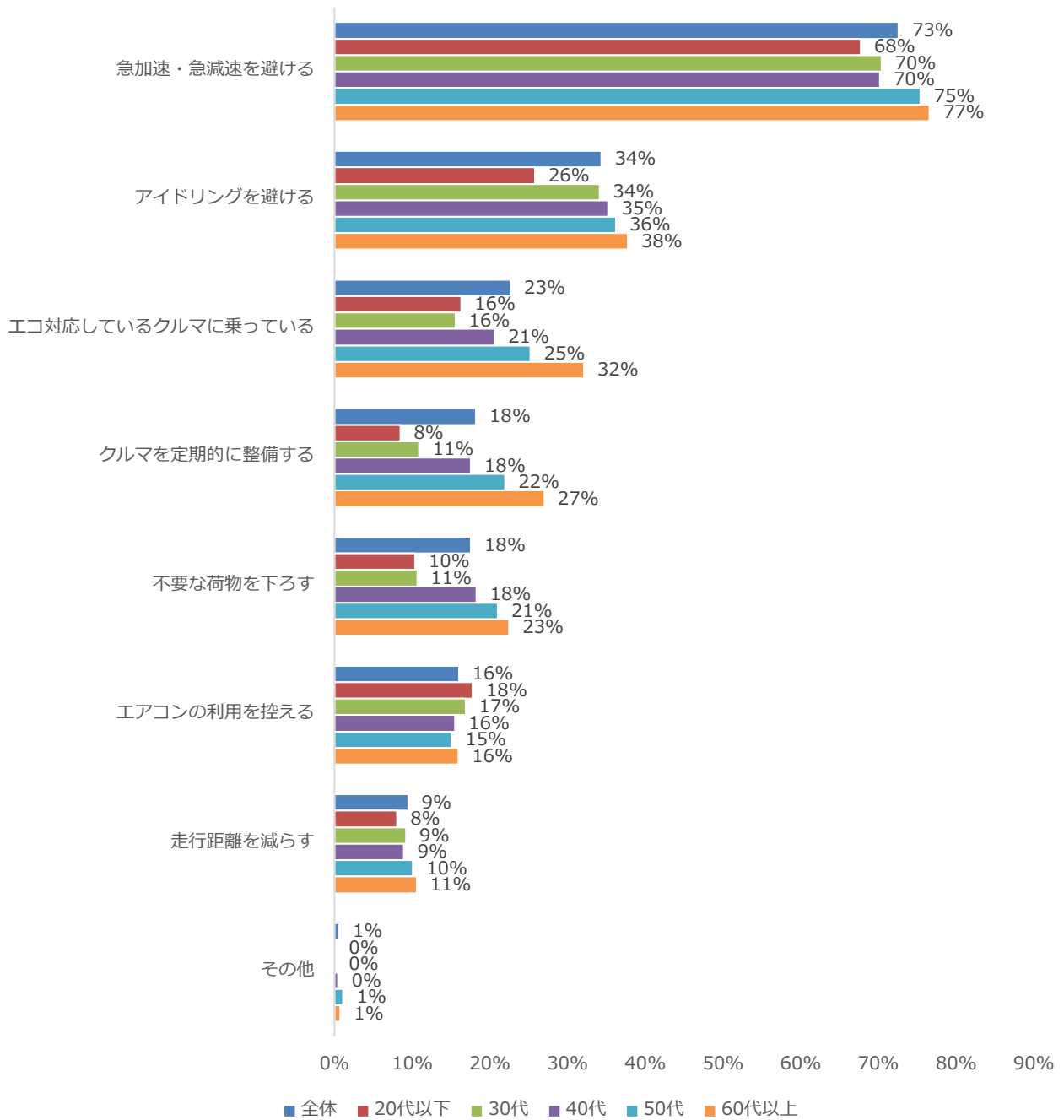






エコドライブで実践している具体的な取組み  
(複数回答/エコドライブを実践している人 n=4,839)

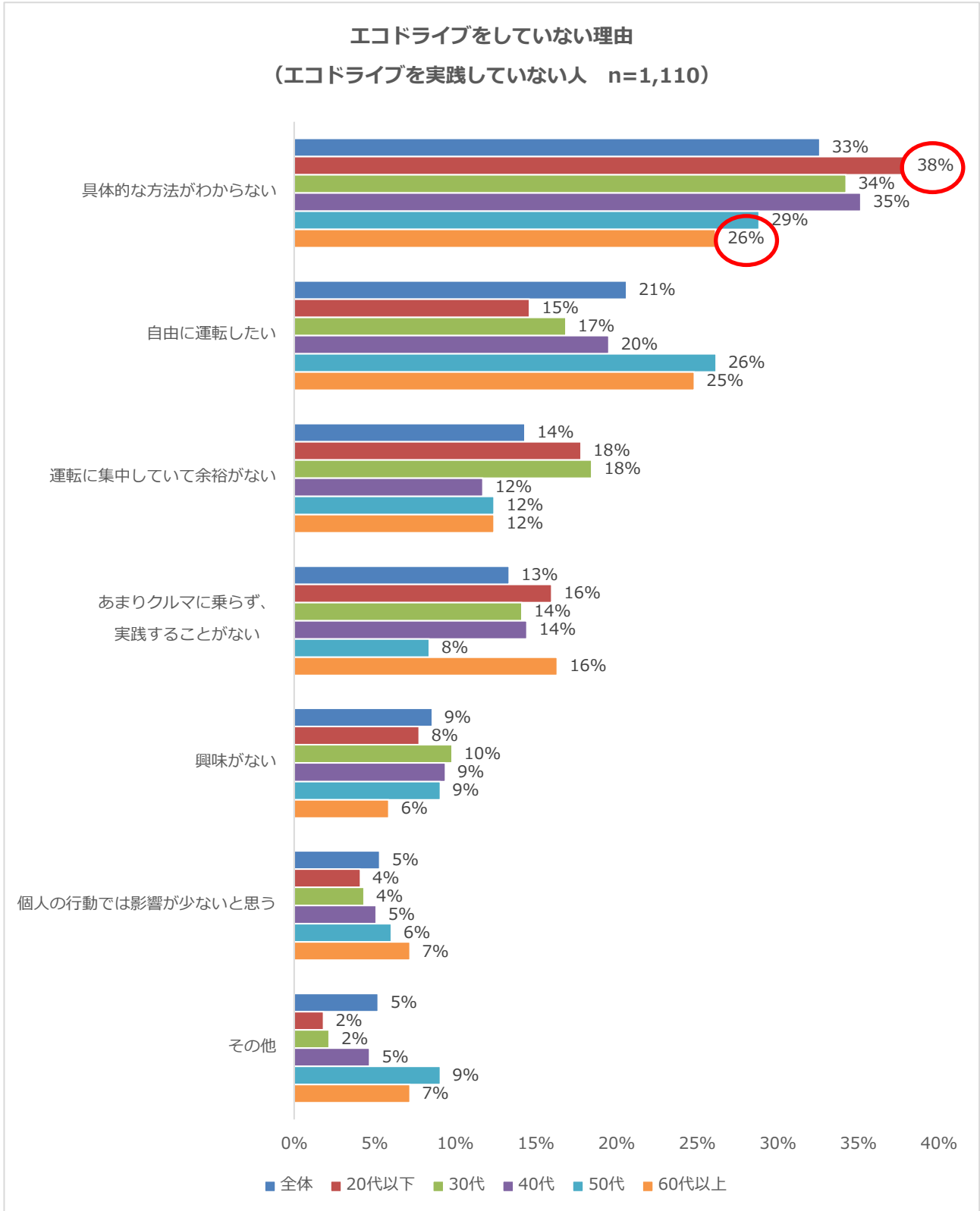




エコドライブをしていない理由は、1位「具体的な方法がわからない」33%、2位「自由に運転したい」21%、3位「運転に集中していて余裕がない」14%でした。

年代別で見ても全年代で「具体的な方法がわからない」がトップとなったものの、最多の20代以下（38%）と最少の60代以上（26%）では12pt差となるなど、年代によって違いが見られました。

「具体的な方法がわからない」と「運転に集中しており余裕がない」の2つが、エコドライブしていない理由の半数を占めており、エコドライブをしないのではなく、できない人もいます。

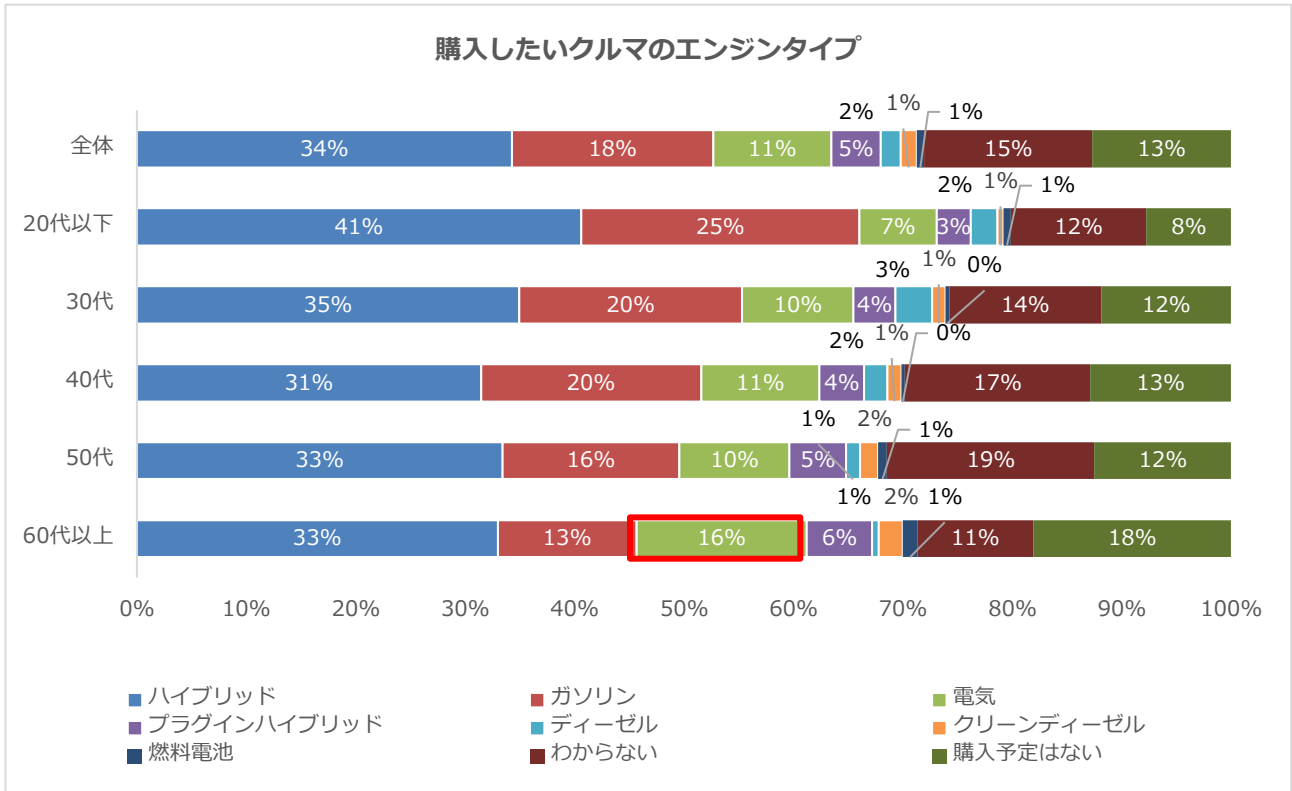




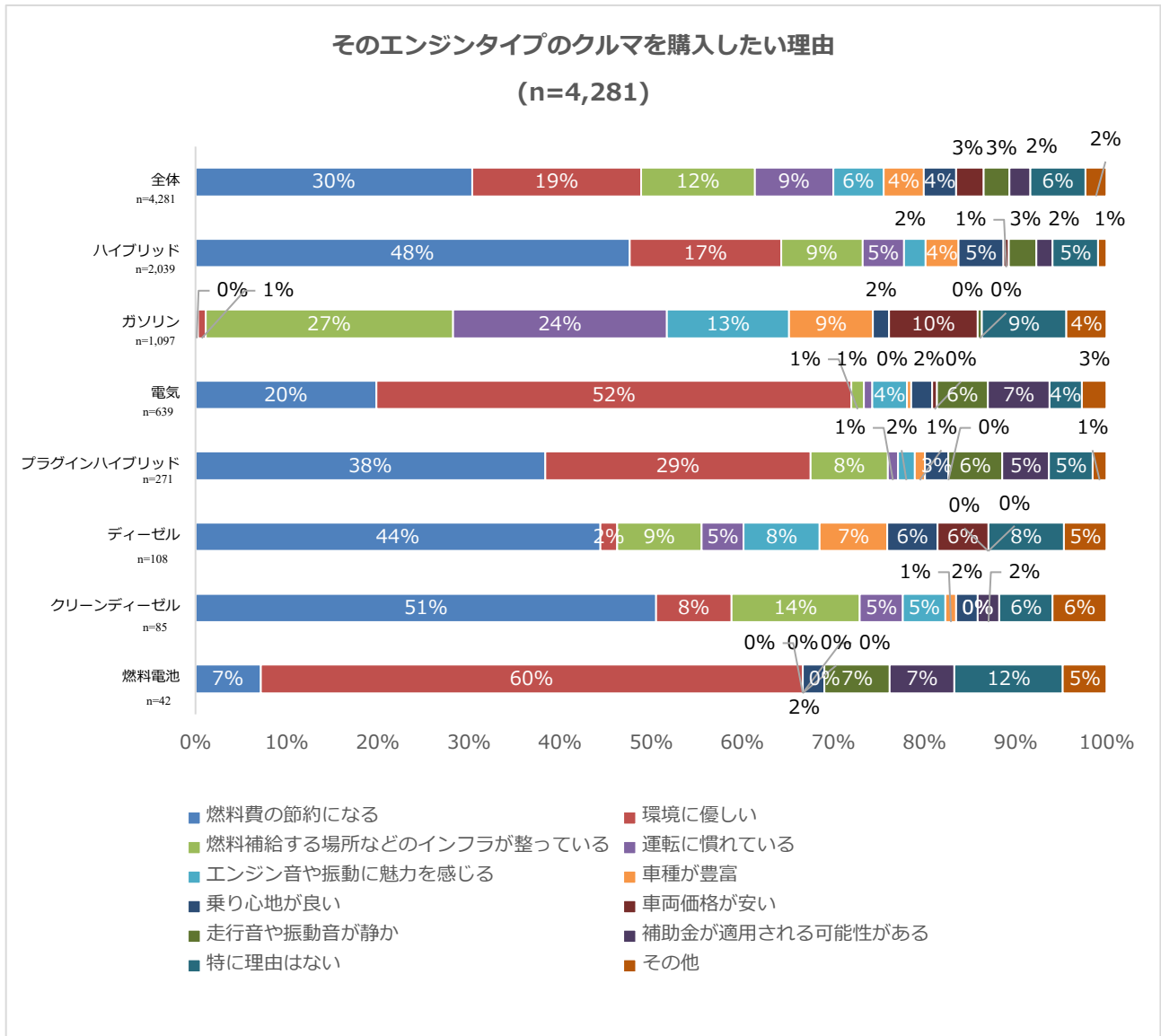
② 購入したいクルマのエンジンタイプは、3人に1人が「ハイブリッド」  
選んだ理由は「燃料費の節約になる」や「環境に優しい」が上位に

今後購入したいクルマのエンジンタイプは「ハイブリッド」34%が最多で、「ガソリン」18%、「電気」11%と続きました。また、「購入予定はない」と回答した人は13%でした。

年代別で見ると、20代以下は「ハイブリッド」の比率が最も高く、4割を超えました。また、年代が上がるにつれて「ガソリン」の比率が低くなっており、60代以上では「電気」が「ガソリン」を上回りました。



購入したいクルマのエンジンタイプを選んだ理由は、「燃料費の節約になる」が30%で最多でした。以降、「環境に優しい」19%、「燃料補給する場所などのインフラが整っている」12%となりました。エンジンタイプ別で見ると、ガソリンは「燃料補給する場所などのインフラが整っている」と「運転に慣れている」を合わせると半数になりましたが、ガソリン以外は「燃料費の節約になる」と「環境に優しい」の合計比率が5割～7割を占めており、理由に違いが見られました。



今回のアンケートで、年代を問わず多くの方がエコドライブをしていることがわかりました。また、今後購入したいクルマのエンジンタイプを選んだ理由として、「燃料費の節約になる」に次いで、「環境に優しい」が多く、エンジンタイプ選択時に環境へ配慮する意識も見られました。

カーシェアリングサービス「タイムズカー」では、日産のEV「リーフ」やトヨタのEV「bZ4X」を導入し、環境への負荷低減のほか、EVを気軽に体験できる機会の提供によるEV普及にも取り組んでいます。タイムズカーでクルマの乗り比べをされ、クルマ購入時の参考にしてみたいはいかがでしょうか。

■調査概要

調査対象：タイムズクラブ会員

(2022年2月16日以降に入会し、直近でパーク24グループのサービス※を利用された方)

※対象サービス：時間貸駐車場・予約制駐車場・カーシェアリング・レンタカー

調査方法：非公開型インターネットアンケート

調査期間：2023年2月16日～2023年2月22日

有効回答者数：5,949名

※調査結果は、四捨五入による端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

— お問い合わせ先 —

パーク24株式会社 コーポレートコミュニケーション部 担当者 渡邊・中尾・花房

電話：03-6747-8121 Eメール：pr@park24.co.jp ホームページ：https://www.park24.co.jp/